

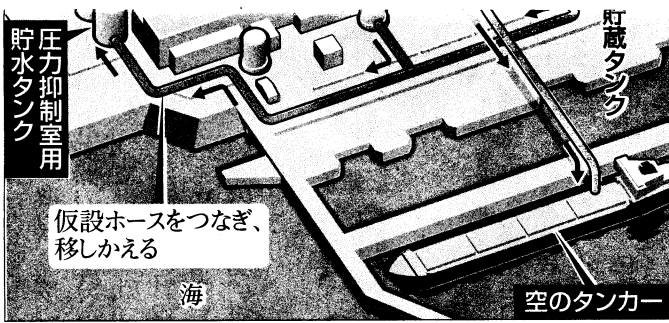
加している。  
チームは「遮蔽」「リモー

# 排水を急ぐ

タンクに入れるリレーを行っ  
ている。

2、3号機の復水器は満水  
状態なので、もともと復水器  
内にある汚染度が低い水を、  
建屋外の「復水貯蔵タンク」  
にすべて移し替えて復水器を  
空にする。復水貯蔵タンク内  
の水は別の「圧力抑制室用貯  
水タンク」に移し替えて、そ  
れぞれ空き容量を確保する作  
業を28日に始めた。

圧力抑制室用貯水タンクは



ている。

各号機共用で、4号機の南に  
ある2基は容量計6800  
リットル、うち空き容量は約4千リ  
ットルとみられる。2、3号機の貯  
蔵タンクを空にして、復水器  
に最大の容量を確保する綱  
渡りの作業を続けている。

一方、原子炉や使用済み燃  
料プールを冷やす注水作業は  
続いている。

温度や圧力の上昇が懸念さ  
れている1号機の原子炉は、  
一時400度を記録するなど  
不安定な状態が続く。2、3  
号機と比べ6割の出力しかな  
く、原子炉が小さいことか  
ら、「わずかな水量の違い  
で、温度や圧力が大きく変わ  
ることがある」という。

また、3号機建屋の外で残  
留熱除去海水系配管の部品を  
取り外した際に、協力企業の  
作業員3人が配管にたまった  
水をかぶったものの、水をふ  
きとった結果、放射性物質の  
付着はなかった、と発表し  
た。

4号機では、中央制御室が  
29日点灯。これで1〜6号機  
すべての中央制御室が点灯し  
た。

## 天声人語

放射能を封じ込める作業が放  
射能を広げ、時と労力を奪う。  
福島原発事故は、ひとたび暴  
走した巨大システムの怖さを教  
えている。現場の死闘に心から  
声援を送りながらも、「がんば

れ東京電力」の声が入らない▼「津  
波が想定を大きく超えた」という。早い  
話が、東電の想定が間違っていた。地球  
や自然への畏敬が足りず、結果として津  
波に負ける原発を海辺で動かし続けた。  
天災が暴いた人災である▼福島第一の記  
録映画は、「この地は数百年にわたり、  
地震や津波で大きな被害を受けていませ  
ん」と胸を張る。全電源が長らく使えな  
い事態も見込んでいなかった。想定外の甘  
さは、「千年に一度」が無残に証明した

▼「最悪の事故が起こるまで人は何をし  
ていたのか」(J・チャイルズ著、高橋  
健次訳、草思社)に、興味深い一文があ  
る。「起こるはずがないと思いたい災難  
の多くは、起こりえないのではなく、起  
こるまでに時間がかかるだけのことであ

る」▼多くの学者が国策になびく中、脱  
原発を貫いた高木仁三郎氏(たかぎにさぶ  
ろ)が健在なら  
ばと思う。11年前、亡くなる年の講演で  
「私はそもそも、原子力は電力として使  
うには無理なエネルギーだと感じていま  
した」と語った。「それがある種の政治

的圧力により、強引に電力供給の主流に  
乗せられようとした」▼科学とは、市民  
の不安を共有し、その元を取り除き、人  
々の心に希望の火を灯すものであるべき  
だと、氏は力説した。電力業界は論敵の

視座から出直すしかない。「最悪」を免  
れ、原発という科学が残ればの話だが。

あらたにす  
http://allatany.jp

ニューズEX

ご質問03-5540-7616  
ご意見03-5540-7615

紙面関連(日・祝休)  
(平日9~21時 土曜9~18時)

お申し込み0120-33-0843  
おねね03-5540-7715

<2011・3・30>